

## ニュースリリース

平成19年 8月 9日

新日鉄エンジニアリング株式会社

### 日本貨物航空株式会社向け整備用ハンガー建設工事の受注について

新日鉄エンジニアリング株式会社（社長 羽矢 惇）建築・鋼構造事業部（事業部長 小野原 一賀）は、このたび日本貨物航空株式会社より成田国際空港整備地区内に建設する航空機整備用ハンガーに関して、提案コンペを経て設計・施工一括で受注致しました。

本件は、B747 - 400F 又は B747 - 8F を1機収納する規模のハンガーであり、2008年1月の着工、2009年春の供用開始が予定されています。

本施設は航空機の安全運航のための整備にとって重要な施設であり、自然光を多く取り入れるデザインに併せ、断熱性能に優れる複合材の活用、自然換気システムの導入による光熱費の削減等、環境にやさしいエコハンガーを計画しております。

当社は、本件のようなエンジニアリング性の高い産業用の建築物建設工事への積極的な展開を図ってきており、従来から培ってきた工場建設・物流施設ノウハウや鋼構造エンジニアリング力により、多様な各種産業の発展に貢献して参ります。

[ 本件に関するお問合せ先 ]

新日鉄エンジニアリング株式会社

総務部広報室 TEL 03 - 3275 - 6030

以 上

## 【参考】

### 1. 建設工事概要

- (1) 場所 成田国際空港内整備地区
- (2) 工期 設計：平成19年7月～平成20年1月  
施工：平成20年1月～平成21年5月
- (3) 規模 鉄骨造 地下1階 地上4階建  
延床面積：約18,499 m<sup>2</sup> (5,596 坪)  
・格納庫：約11,767 m<sup>2</sup> (3,560 坪)  
・附属棟：約6,502 m<sup>2</sup> (1,967 坪)  
・他：約230 m<sup>2</sup> (69 坪)

#### 航空機整備用ハンガーとは？

航空機の整備を行うための施設。整備とは故障等不具合が発生した部分を修復するだけでなく、航空機が安全にかつ定時に運航できるように点検し、不具合発生前に発見または部品交換する作業を総称する。

出発前に行う出発前整備、約1～2ヶ月毎に行うA整備、約1年半毎に行うC整備、および6年毎に行うD整備に分類される。

本施設は不具合修復およびA整備を行うための施設となる。

#### B747-8Fとは？

2005年末に日本貨物航空(株)とルクセンブルクのCargoluxからの発注により、ボーイング社(米国)がローンチした大型貨物機であり、2009年に初号機が完成予定。B747-400型機の後継機として、主翼に手を加え787と同じエンジン～高い静粛性と燃料効率を誇るGEnxエンジンを搭載し、約6m胴体を延長した747の貨物最新モデル。貨物型がB747-8F(フレイター)、旅客型がB747-8I(インターコンチネンタル)。

